

国際化学肥料ニュース (2020年1月)

肥料業界の2020年1月動態

- * 中国税関の速報によれば、2019年12月中国の化学肥料輸出量が17.0%減の225万トン、金額では37.6%減の4.86億ドル。その内訳は尿素60万トン、DAP37万トン、NPK化成肥料8.74万トン。

2019年化学肥料輸出量が11.3%増の2776万トン、金額では16.2%増の73.44億ドル。その内訳は硫安702.66万トン、尿素494万トン、塩安106.33万トン、DAP647万トン、過りん酸石灰と重過りん酸石灰175.59万トン、NPK化成肥料100.32万トン、硫酸加里32.59万トン、塩化加里22.92万トン。

一方、12月の化学肥料輸入量70.5万トン、金額では2.10億ドル。その内訳は塩化加里57万トン、NPK化成肥料7万トン。

2019年化学肥料輸入量が16.9%増の1111万トン、金額では29.5%増の35.27億ドル。その内訳は塩化加里908万トン、NPK化成肥料139万トン、尿素18.2万トン、硫酸加里7万トン。

- * ヨルダンからの報道によれば、ヨルダン国営りん鉱石公団(JPMC)がインドのMMTC社との間にりん鉱石とりん酸製品に関する覚書を締結した。向う5年間、JPMC社が毎年MMTC社に45万トンりん鉱石、45万トン化学肥料と30万トン粗りん酸を販売するという内容である。
- * ブラジル税関の速報によれば、2019年ブラジルが1050万トン塩化加里を輸入し、最高記録の2018年とほぼ同じである。輸入元では、カナダが最大で、次いでロシアである。チリからの輸入量が64%も激減し、イスラエルも25%減少した。
- * インドのRCF社が行ったりん酸一安(MAP)2万トンの国際入札結果は、Ameropa社がCFRムンバイ292.5ドル/トンで落札した。落札品はモロッコ産のものである。当該入札には計8社が応札し、最低応札価格がCFR292.5ドル/トン、最高応札価格がCFR328ドル/トンである。
- * インドからの報道によれば、2019年に大きな自然災害がないため、農作物生育が順調で、尿素需要量が平年より増えた。2019年4~12月の国内尿素販売量が3.3%増の2540万トン、輸入量も41.8%増の757万トン。3月までの2019~2020年度には国内尿素販売量が新記録の3400万トンに達成する見込みである。

- * 中国大手 DAP メーカーが会議を開き、国内需要と輸出の不振により、1～3月の第1四半期に DAP 減産 60 万トンを決めた。
- * カナダの Nutrien 社は 3 月に Vanscoy 加里鉱山の稼働を再開させる。塩化加里の需要不足により、2019 年 9 月から Vanscoy 加里鉱山の稼働を一時停止させた。ただし、再開の時期がまだ流動的で、最終決定ではないと Nutrien 社も言い加えた。
- * アメリカの Mosaic 社が傘下の Colonsay 加里鉱山を一時閉鎖と発表した。すでに解雇された 340 名従業員に加え、さらに 80 名の追加解雇を決めた。ただし、約 45 名従業員を残し、いつでも再開できるように鉱山と精製工場のメンテナンスを担当する。
- * 中国からの情報によれば、2019 年中国塩化加里生産量 732 万トン、昨年より 13%増、最高記録である。また、2019 年塩化加里輸入量が 21.7%増の 907.56 万トン、そのうち国境貿易の形で輸入された塩化加里 54.6 万トン。輸入元はカナダ 325.6 万トン、ロシア 217.6 万トン、ベラルーシ 187.4 万トン。2019 年塩化加里輸出量 23 万トン。
また、2019 年中国国内塩化加里消費量が前年度より 11.5%減の 1291.6 万トンと推定される。
2019 年末現在、中国青海省加里メーカーに塩化加里在庫量約 140 万トン、港に輸入塩化加里在庫量約 390 万トン、合計 530 万トンの在庫量がある。

大手各社の営業業績

- * 1 月 13 日、ヨルダンの JPMC 社の会長が 2019 年の業績を公表した。リン酸肥料を含むリン酸塩の生産量が 15.1%増の 923.11 万トン、販売量が 12.5%増の 907.31 万トン、ともに最高記録を樹立した。また、インドとの合弁会社 Indo- Jordan chemicals も 2019 年の粗りん酸生産量が 3.3%増の 49.19 万トン、販売量が 11.77%増の 52.12 万トン。

肥料資源の探索と肥料プラント新規建設

- * トルコの Alkim Alkali Kimya 社はトルコ Acıgöl 湖の鹹水を原料として硫酸加里を生産する計画を決定した。工場建設地は Dazkırı 市に近い Koralkim で、完成後の年間生産能力 5 万トン硫酸加里と予定する。すでに Veolia 社と契約を結び、Veolia 社の HPD 結晶技術を導入する。
- * 旧ソ連諸国が作ったヨーロッパ・アジア開発銀行 (EDB) はベラルーシの OAO Belaruskali 社に 4 億ドルを貸し、Petrikovsky 加里開発プロジェクトの採鉱井戸と精

製工場の建設資金に充てる。Petrikovsky 加里開発プロジェクトは 2015 年から建設を開始し、2021 年に完成する予定である。すでに 6.9 億ドルを投じた。Petrikovsky 加里鉱山はベラルーシの南部 Petrikf 地域にあり、商業的開発価値を有する加里資源量約 18 億トン、完成後年間 100 万トン塩化加里を生産する計画である。

その他

- * 1 月 5 日、中国国営企業中国中化集団 (Sinochem Group) と中国化工集団 (ChemChina) の 2 社が傘下にある肥料、農薬、種子、農業サービス事業を統合することを発表した。統合対象が上場企業 4 社と非上場会社 59 社で、統合後の存続会社は Syngenta 社である。統合により資本金 100 億人民元、売上高 (2018 年ベース) 1500 億人民元 (肥料 230 億人民元、農薬 1000 億人民元、種子 225.4 億人民元) の世界最大の農業資材会社となる。

存続会社の Syngenta 社は元スイスにある農業資材の会社であったが、2017 年 6 月 27 日、中国化工集団 (ChemChina) が 430 億ドルの巨資を投じて買収し、完全子会社にした。今回統合の原因は、買収後の Syngenta 社の業績が悪化しつつ、2018 年末の純債務が 63 億 2600 万ドル (アメリカ農家との訴訟賠償金を算入すれば、82 億 8500 万ドル) に膨張し、格付け会社 Fitch 社と S&P 社が Syngenta 社に与える評価は BBB-、Moody's 社が下した評価は BB で、投資不適格とされて、その窮境を救済するためである。

また、1 月 7 日、中国中化集団の子会社中化香港は所持している香港証券取引所に上場している中化化肥社の株式 36.99 億株 (発行済み株式の 52.65%) を 1 ドルの代金で Syngenta 社に譲渡すると発表した。

- * 新型コロナウイルス肺炎の影響で、中国各地の地方政府が「封城」を発動し、道路などを閉鎖して、医療用具と食品しか輸送できない状態が続いている。化学肥料メーカーが製品の出荷ができず、在庫が膨らみ、一部の尿素メーカーとりん安メーカーが減産をせざるを得ない。春シーズンの前に化学肥料関係協会などが政府に肥料、農薬と種子などの農業生産資材も医療用品と食品などに準じて、グリーン通路を開放し、順調に流通できるように緊急要請した。